

# ねらいにせまるための指導の工夫



## ① 児童が捉えやすい教材の工夫



児童にとって身近なコンビニを取り上げ、自分たちの生活と情報活用の関連を想起できるようにしました。コンビニが多すぎず少なすぎず、ちょうどよい発注をするために、天気・気温・イベント・過去のデータ・連休等の情報を活用していることを資料と生活経験を関連付けて読み取ることができました。

## ② 学んだことを確かめる場の設定



タブレットを用いてグループで話し合いながら模擬発注したり、店長さんの言葉を聞いたりする場を設定することで、児童はコンビニが情報を生かして発展していること、情報が国民生活の向上につながっていることを確かめることができました。